

11. インターネットとマルチメディア社会

統計資料 「総務省 情報通信白書」

<http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/whitepaper/ja/cover/index.htm>

(1) インターネットの普及状況

- ・日本のインターネット人口 6,942 万人 (前年 5,593 万人) (2002 年 12 月現在)
人口普及率 54.5% (同 44.0%)
- ・世界のインターネット人口 約 5 億 4,400 万人 (2002 年 3 月現在)
1 位:アメリカ (1 億 6,600 万人) 2 位:日本 (6,000 万人) 3 位:中国 (3,400 万人)
- ・日本のブロードバンド加入者数 (2003 年 5 月現在)
合計 1,048 万件 内訳 ADSL (790 万件) CATV (218 万件) FTTH (40 万件)

(2) 日常生活におけるインターネット利用

- ・必要性 必要不可欠 (66%) ある方がよい (33%) その他 (1%)
- ・用途 1 位:メール 2 位:ホームページ検索 3 位:ニュース・天気 4 位:ショッピング
- ・効果と影響 コミュニケーションは便利、出費が増加、新聞雑誌を読まなくなった

(3) デジタルディバイド (Digital divide)

- ・年齢別の格差
- ・年収別の格差
- ・男女別の格差

(4) ビジネスへの利用 …… 電子商取引 (Electronic Commerce)

B (Business) と C (Consumer) の連携

B to C

C to C

B to B

(5) 変わる社会生活

売り方・買い方が変わる (デジタルデータの切り売り)

流通が変わる

広告が変わる

バナー広告、広告メール

銀行が変わる

ホームバンキング

ネットバンキング

教育が変わる (eラーニング)

SOI (school of internet)

生活スタイルや価値観が変わる

SOHO (Small office Home office)